

発表No.

テーマ

204

QC事務局の業務見直し ～サークルレベルの向上～

会社・事業所名（フリガナ）

アーレスティテクノサービス

(株) アーレスティテクノサービス

発表者名（フリガナ）

アツミ ミサキ
渥美 美咲

発表のセールスポイント

QC活動を推進するため事務局業務の見直しを行い、会社全体の力量を上げるため事務局員所属のサークルレベル向上を図った。

サークルのモットー

若手からベテランと女性5名、男性1名というサークル構成です。女性に圧倒されているようにみえますが、年齢、性別に捉われずジェンダーフリー的な思考かつ皆が意見を言える雰囲気づくりを目指し、実現に向かって邁進しているサークルです。

| | | | |
|-----------------|---|------------|-----|
| 分野 該当するもの全て○ | 品質向上／生産性向上／ <u>作業改善</u> ／ <u>工数低減</u> ／コストダウン／人材育成 安全／環境／DX(デジタルトランスフォーメーション)／その他（ ） | | |
| QCストーリー | <u>問題解決型</u> ・ 課題達成型 | | |
| 発表概要 100文字程度 | 今後のQC活動推進を活発にするため、これまで改善してこなかった事務局業務の見直しと、ATSサークルレベルの向上を目指して、まずは自分達のレベルアップに取り組むことにしました。 | | |
| 本テーマの活動期間 | 2023年4月～2023年9月 | | |
| 本テーマの会合回数 | 13回 | 1回あたりの会合時間 | 60分 |

| QCサークル紹介 | | サークル名 | | J-friends | |
|----------|-------|-----------|------------------------|-----------|--|
| 本部登録番号 | 23075 | サークル結成時期 | 2013年4月 | | |
| 構成人員 | 6名 | 月あたり会合回数 | 4回 | | |
| 平均年齢 | 33歳 | 1回あたり会合時間 | 4時間 | | |
| 最高年齢 | 50歳 | 会合は | <u>就業時間内</u> 、就業時間外・両方 | | |
| 最低年齢 | 19歳 | テーマ暦・社外発表 | 20件目 ・ 1回目 | | |
| (所属部署) | | 業務課 | | | |

テーマ選定

サークル員で日ごろ困っている事を話し合い、点数付けを行いました。

| テーマ | コスト | 重要性 | 効果 | 実現性 | 計 |
|---------------|-----|-----|----|-----|----|
| 5様の書類管理方法の見直し | × | △ | △ | △ | 10 |
| 1棟倉庫西側の見直し | ○ | △ | △ | ○ | 16 |
| QC事務局の業務見直し | ○ | ○ | ○ | ○ | 20 |
| 防災倉庫内の見直し | ○ | △ | △ | △ | 14 |
| 購入品の見直し | ○ | ○ | ○ | × | 16 |
| 紙使用量の削減 | ○ | ○ | ○ | △ | 18 |

「QC事務局業務の見直し」に決定！
【テーマ選定理由】
QC事務局の業務に遅れが生じやすくなっている。
これまで事務局業務の手順の見直しを行なったことが無いことに気付いたため。

2024/12/2

2

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

1

活動計画

会合回数 13回

しっかりと計画的に進めていこう！

表1 活動計画のガントチャート

| 活動事項 | 担当 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|
| テーマ選定 | 全員 | → | | | | | |
| 計画立案 | 全員 | | → | | | | |
| 現状把握 | 全員 | | → | → | | | |
| 目標設定 | 全員 | | | → | | | |
| 要因解析 | 全員 | | | → | → | | |
| 対策検討 | 全員 | | | | → | → | |
| 対策実施 | 全員 | | | | → | → | → |
| 効果の確認 | 全員 | | | | | → | → |
| 標準化と管理の正着 | 全員 | | | | | | → |

2024/12/2

3

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

2

テーマ選定です。

サークル員で日ごろ困っていることを話し合い、点数付けを行いました。
一番点数の高かった「QC事務局の業務見直し」に決定しました。

活動計画と実績です。

おおむね計画通りに進めることができました。

現状把握1-1

QC事務局の年間スケジュールを改めて把握！



2024/12/2

4

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

3

現状把握2-1

事業所大会開催フォーマットの現状を調査

事業所QC大会プログラム(Word)

提出書類案内(Word)

【Wordの書式について】

- Wordを使用しているフォーマットが多い
- レイアウトが組みづらく調整に時間がかかる
- 日常業務での使用頻度が低いので操作に不慣れ

2024/12/2

7

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

4

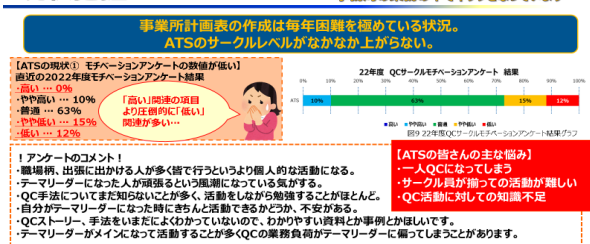
現状把握です。

QC事務局業務を年間スケジュールにまとめました。
年度末から年度初めにかけて、そして下期の初めに業務が集中しています。
特に、事業所QC大会に関する準備・運営・まとめの業務が多くなっています。

まず、大会プログラムと提出書類案内についてです。大会プログラムは事業所QC大会のスケジュールが掲載されているもの。提出書類案内は各サークルから提出頂く書類の期日等についての案内を記したものです。これらのフォーマットの編集はWordで行っています。Wordは日常業務で使用頻度が低いため、操作に慣れていません。レイアウトが組みづらかったり、調整に時間がかかってしまっています。

現状把握3-1

事業所QC大会と時期が重なる「事業所活動計画の作成」事務局の業務の中でネックとなっています



2024/12/2

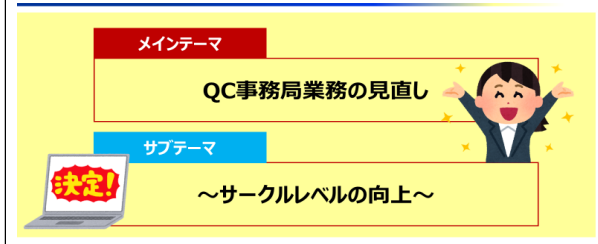
10

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

5

ここで、事務局の年間スケジュールについての話に戻ります。
毎年、事業所計画の作成に苦労しています。
様々な施策を講じてきましたが、直近の2022年度モチベーションアンケートの肯定回答の数値が低く、全体のサークルレベルはなかなか上がりません。
アンケートでは、サークル員が揃って活動が難しい、等の意見がありました。

テーマ決定！



2024/12/2

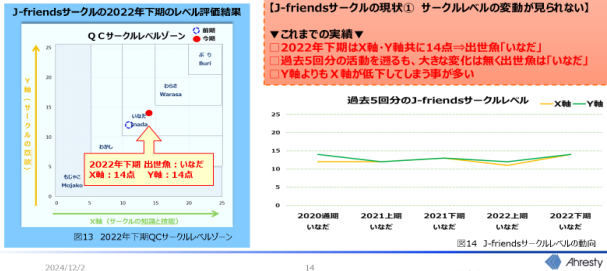
13

Copyright ©Aresty Corporation. All Rights reserved.

6

メインテーマはQC事務局業務の見直し。
サブテーマとしてサークルレベルの向上に決定しました。

現状把握4-1



2024/12/2

14

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

7

ここからはサークルレベルについての現状把握です。
2022年下期の評価結果は、X軸・Y軸ともに14点で出世魚は「いなだ」でした。
過去5回分の活動においても大きな変化はありません。
また、Y軸よりもX軸が低くなる時期が多いことが分かります。

目標設定

1. 事業所QC大会の業務にかかっている時間を20%（4時間36分）削減する
※次の事業所大会開催までに！
2. サークルレベルをX軸・Y軸それぞれ1点UP
わらさを目指す

2024/12/2

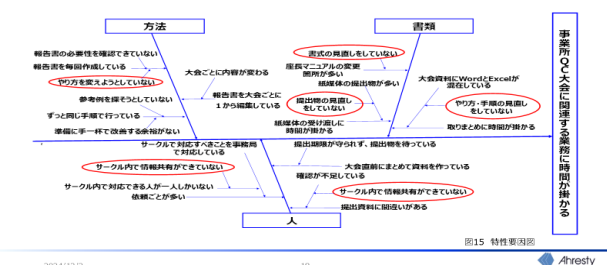
17

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

8

目標設定です。
事業所QC大会の業務にかかっている時間を20%削減する。
サークルレベルをX軸・Y軸それぞれ1点UPさせ、わらさを目指す。
以上の2つに決定しました。

要因解析1



2024/12/2

18

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

9

事業所QC大会の業務に関する要因解析です。
サークル員全員で問題点を洗い出し、特性要因図にまとめました。

要因の検証1

| 問題 | 重要要因 | 検証と予測 |
|------------------|-------------------|---|
| 事業所QC大会に掛かる時間が多い | サークル内で情報共有が出来ていない | リーダーに伝えたことがサークルメンバーに伝わっていない。情報共有できれば問い合わせがなくなり対応時間を削減できる。 |
| | 手順の見直しをしていない | 提出物の案内がWordのため編集しづらい。Excelに変更すれば編集がしやすくなる。 |
| | 座長マニュアルの見直しをしていない | 座長マニュアルは全て台詞を載せているので毎回編集している。簡略化して編集箇所が少なくなれば、時間を削減できる。 |
| | 提出物の見直しをしていない | 活動状況表とレベル評価シートを紙媒体での提出としている（手書き、紛失、進捗員合が不明確）データ提出とすることで、手間（進捗員合の確認など）を省くことが出来る。 |
| | | |

表10 要因の検証

2024/12/2

19

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

10

特性要因図から分かったことを重要要因として、それぞれ検証しました。
サークル内で情報共有が出来ていない、という重要要因に対して、情報がメンバーに降りていないのでしっかりと共有が出来れば対応時間が削減できるのではと検証と予測をしました。
手順・座長マニュアル・提出物の見直しが出来ていない検証と予測についてもご覧の通りです。

対策検討1

図17 マトリクス図

2024/12/2

20

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

11

事業所QC大会に関連する業務の時間を削減するため、対策を立案、検討しました。
効果、実現性、コストで評価し、合計が15点の対策について、実施することにしました。

対策実施1の前に...

Wordは使えないわけではないんだけど操作に慣れていないんだよね。

これまで前回と同じ書式を使わなくて、という先入観から来てなかった。

表1つの編集だけでも使い慣れていないから時間が掛かってしまっている。

AS・ATSASで定められた書式ではないので改定しよう！

Wordの書式について

- Wordを使用しているフォーマットが多い
- 日常業務での使用頻度が低いので操作に不慣れ

2024/12/2

21

Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

12

まず、これまで見直しをしていなかったWordのフォーマットについて振り返ります。
提出書類のお知らせ等、Wordを使っている編集に時間がかかり、苦労していました。
また、従来と同じ書式を使わなければ、との先入観からやり方を変えてきませんでした。
事業所内で作成しているフォーマットは規定で定められたものではないので、改定することとしました。

対策実施5の前に…

活動を活動にしていなければ良い結果は得られない。

現状把握にて、会話状況・チームワークに対する悪さが明るみになった。

Y軸口：QCサークル会実施状況

- 積極的に自ら意見を言えない
- 発言がしづらい・苦手な人へのフォローが不足している
- 話が分かる人の中だけで盛り上がってしまう
- テーマ内容によっては何を発言すればいいかわからない

Y軸イ：サークルの雰囲気とチームワーク

- 全員が意見をを出していない
- 全員が発言できるように気が配りが出来ていない
- 自分が知らない話についていけない
- チームリーダーの役割に手一杯で回っている余裕がない

ポイント サークルの良いところ

- 出した意見を否定されることはない
- 協力は全員ある
- 資料作成時は分担出来ていても良いことと感ずる

どんな意見でも積極的に発言してほしい！

でも私から発言しづらい環境を作っていないよね

会合の役割についていけないんだよなあ…

対策実施5

Y軸レベルアップの対策！
～まずは発言しやすい環境・状況を作ろう～

役割を設けて会合を開催する

進行役
チームリーダーと協力して進行する
全員が発言出来る様、意見を求める
時間係(タイムキーパー)
会合の進捗を促す。
予定時間内に終了出来る様、時間を明確(後輩社員はこの様な声掛けから発言に慣れていく機会につなげてほしい)

書記
記録していくことで活動状況を把握し、QC活動への理解を深めていく
ホワイトボードへの記録のため、前へ出ることで活動に参加していない意識を高める狙い

*** 会合記録用紙に役割分担の一覧を記載 ***
当番制で役割をまわっていくことに決定

| 役名 | 氏名 | 担当 | 備考 |
|-----|------|------|----|
| 進行役 | 山本 健 | 山本 健 | |
| 時間係 | 山本 健 | 山本 健 | |
| 書記 | 山本 健 | 山本 健 | |

サークルレベルについては、現状把握でチーム全体の発言力の弱さが明るみになりました。

積極的に意見が言えず、全員が発言出来ていません。

また、先輩社員は後輩への気が配りが不足していました。

しかし、サークルの良いところもあります。

出した意見は否定されることなく、資料作成も分担して行っています。

では、対策実施に入ります。

全員が参加でき、活気ある活動を目指すために、役割を設けることにしました。

進行役、タイムキーパー、書記を当番制で回していきます。

会合記録へ役割分担とその内容を記載しました。

対策実施6

X軸レベルアップの対策！
～これまで使用したことのない手法を使ってみよう～

「連関図を使用して」
今回のテーマは複雑な問題ではなく、原因は何か明確でした。
手法の高度な使い方の期待が高くなりました。

「連関図を使用して」
今回のテーマは複雑な問題ではなく、原因は何か明確でした。
手法の高度な使い方の期待が高くなりました。

対策実施7

X軸レベルアップの対策！
～QC手法を多用するためのeラーニング受講～

*** 言語データの多いテーマ活動になりやすい ***
従来も今回の活動も、間接部門の特性から言語データが多くなりやすい傾向にあります。
また、推進課よりコンテンツが追加されましたら合わせて受講予定です。

| コンテンツ名 | 種類 | 参加人数 | 受講状況 | 氏名 | 終了率 |
|-------------------|------|------|------------|-------|-----|
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | レッスン | 100 | 2023/08/09 | 深妻 美咲 | 100 |
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | レッスン | 100 | 2023/08/09 | 深妻 瑞生 | 100 |
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | テスト | 100 | 2023/08/09 | 平田 尚乃 | 100 |
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | フォーム | 100 | 2023/08/09 | 山本 健 | 100 |
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | フォーム | 100 | 2023/08/09 | 鈴木 玲菜 | 100 |
| QC七つ道具【グラフ・バレット図】 | フォーム | 100 | 2023/08/09 | 鈴木 玲菜 | 100 |

現状把握では、QCの基本的な考え方や問題解決のステップが弱いことが分かったため、手法の正しい使い方を知ることが大切です。

これまで使用したことのない手法に挑戦するため、連関図を作成してみました。

しかし、今回のテーマは原因が明確なため、連関図は適していませんでした。

ただ、これまで使ってきた手法がNGというわけではありません。

今回の活動内容に適したQC手法であるグラフを多用するため、eラーニングを全員受講し、理解度を高めました。

今後、コンテンツが増加されましたら、そちらも受講する予定です。

対策実施8

X軸レベルアップの対策！
～QC手法等の他拠点・他拠点の優秀事例の活用～

教育関連の資料、他拠点の優秀事例（間接部門）を参考・活用

他拠点の事例や外部大会の事例を共有します！
ストーリー作成の参考にしましょう！

サークル員へ展開

今回のQC活動に、他拠点の関連部門発表事例を参考にさせていただきます。

QCサークル活動の日の壁新聞の情報を参考・活用

2023年度 QCサークル活動の日

4月10日(月)
4月19日(水)
4月28日(金)

対策実施9

X軸レベルアップの対策！
～外部研修・外部大会(聴講)への参加～

*** 静岡地区基本研修会 1名参加**

2023年度 QCサークル静岡地区
QCサークル「基本研修会」のご案内
スローガ：QCサークル活動（小集団活動）を基礎に
特性に合わせた活動。発表・発表・発表！
主催：QCサークル推進課 静岡地区
後援：QCサークル本部・一財団、日本科学技術振興

*** 静岡地区外部大会聴講 1名参加**

第6449回 QCサークル
フレッシュ&チャレンジ大会のご案内
主催：QCサークル推進課 静岡地区
大会テーマ：活動の基本を学び、レベルアップのため優秀事例に学ぶ！

グループワークを行い、QC手法を細かく確認できました。

発表の仕方が参考になりました。2人で掛け合いをしていて、ストーリーが理解しやすかったです。

次に、教育資料、他拠点の優秀事例をサークル員に展開し、今回の活動でも参考にしました。

また、QCサークル活動の壁新聞の情報も参考にし、活用できる情報も取り入れました。

基本研修会と外部大会の聴講にそれぞれ1名ずつ参加しました。

感想として、「グループワークを行い、QC手法を細かく確認できた。」

「2名の掛け合いで発表していて、ストーリーが分かりやすかった」とのことでした。

外部大会聴講には、当時の事業所大会発表者が参加しました。

とても良いタイミングで聴講に行くことが出来、良い機会となったと思います。

対策実施10

Y軸レベルアップの対策！
～9の付く日に会合設定・事前に議題、宿題進捗を共有～

議題内容・次回会合開催内容の連絡

宿題のお問い合わせ
- 会合開催の内容、進捗目標の案内
※ 会合時間内で終わらなかった議題はメール・共有フォルダを活用して意見を収集

デマリアー

9の付く日に会合開催することを意識！

【想定される効果】
- 宿題に議題内容を伝える事で各々の意見をまとめて来れる→ 発言が増える
- これまでの活動の流れを理解しやすくなる
- 9の付く日に会合開催することを意識！
- 残りの会合日数の把握を把握しやすくなり、事前に予定を把握しやすくなり、多少の変更はあっても計画が立てやすく、遅れが生じにくくなる。

2024/12/2 36 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

効果の確認1

事業所QC大会業務時間 23時間 ⇒ 16.75時間 約27%削減

事業所QC大会業務時間 約27%削減に成功！

対策前: 5.5, 4.5, 4.5, 2, 6.5
対策後: 5.5, 1, 4.5, 0.5, 5.25, 6.5

【付帯効果】 データ提出に変更したことで紙の使用量削減
((活動状況表 1枚/サークル×10サークル)+(レベル評価シート 1枚/サークル×10サークル)) × @3/枚 = 年間60円の削減

2024/12/2 37 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

次に、会合前に議題や宿題の進捗を共有しました。

事前に各自で意見をまとめることで会合での発言に繋がり

活動の流れを理解しやすくなりました。

会合開催日は9の付く日を目安に設定しました。

残りの会合日数の把握、日程調整が出来、計画に遅れが生じにくくなりました。

効果の確認です。

事業所QC大会に関する業務時間について、確認しました。

これまで23時間かかっていたのが、16.75時間となり、約27%削減できました。

目標達成です。

効果の確認2-2

サークルレベルの変化 (前期→今期)

Y軸 (サークルの意識)

X軸 (サークルの知識と技能)

3-friendsサークルの2023年上期のレベル評価結果

X軸: 3点UP
Y軸: 4点UP

| 項目 | 2022年下期 | 2023年上期 |
|------|---------|---------|
| X軸合計 | 14 | 17 |
| Y軸合計 | 14 | 18 |

2024/12/2 39 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

効果の確認2-1

| 項目 | 評価 | 前年度評価 | 今年度評価 |
|----------|----|-------|-------|
| X軸 知識と技能 | 2 | 3 | 3 |
| Y軸 意識 | 2 | 3 | 4 |

2点以下の項目ではなかった『X軸 口』『Y軸 八』の評価も1点UP！！

2024/12/2 38 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

目標達成です。

2022年度下期の評価はX軸、Y軸ともに14点でしたが、

2023年度上期はX軸が17点、Y軸が18点で、明らかにレベルアップしました。

続いて、サークルレベル向上に関する効果の確認です。

アドバイザーに、レベル評価をしてもらいました。

御覧の様に、X軸Y軸共に評価が上がりました。

2点以下ではなかった項目の評価も上がっています。

歯止め

| What(何を) | When(いつ) | Where(どこで) | Who(誰が) | Why(なぜ) | How(どうする) |
|----------------|-----------------|------------|---------|-----------------|-----------|
| 提出書類の記入方法 注意事項 | 問い合わせ記入間違いがあった時 | 共有フォルダ内 | 事務局 | 記入法がわからないようにする | 更新し、展開する |
| リーダー会の内容や資料 | 年1回 | リーダー会 | 事務局 | サークル員に共有してもらうため | 展開を呼びかける |
| ASの各役割 | 年1回 | リーダー会 | 事務局 | 各員の役割を認識してもらうため | 確認・周知する |
| ASの各役割 | AS決定時 | 共有フォルダ内 | 事務局 | 最新版の情報にするため | 更新する |

2024/12/2 40 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

まとめ・振り返り

良かった点: サークル員が満足いくところまで追求できた。若手社員が多い中、全員で意見を出し合い決定することができた。

悪かった点: 推進課が絡む業務について解れる事が出来なかった。事務局から推進課に改善案を提案する等は出来たと思う。

苦労した点: 2チームでの活動となったこと。事務局のテーマ活動の態、担当でない人に現状を全て理解してもらうことが必要だった。

全員が同じレベルに到達出来る様、引き続き成長できる機会を設けていく。QCサークル東海支部静岡地区 新春大会へエントリーしました！ATSで初めての外大会になるので毎回の強らい目標一杯発表して参りたいと思います。

X軸: 3点UP
Y軸: 4点UP

2024/12/2 41 Copyright ©Aresty Corporation. All rights reserved.

事業所QC大会の業務時間削減に対する歯止め、サークルレベルの向上に対する歯止めをそれぞれ行いました。

まとめと振り返りです。

2022年度下期と比較すると、X軸・Y軸共に点数がアップし、出世魚のレベルもいだから明らかにになりました。

若手社員、ベテラン社員共に、改めてQC活動について学び直す良い機会となりました。